

◆ 編集委員会より退任のご挨拶 ◆

悪い意味ではなく、執筆者も編集委員も、皆さん理系のくせに文章にうるさい、そして、細かい、と言うのが、この4年間の感想です。しかも、名文が多い。僕も少しは文章書けるつもりだったのですが、頭が下がりました。理系の入試には英語より「国語」と、教育の基本「読み書き」を蔑ろにしてはいけないと再認識しました。専門分野を異

とする編集委員会のメンバーも博識な方が多く、年に2回程ある慰労会も、楽しく参加させていただきました。

4年間、振り返ると長かったのか短かったのか判りませんが、執筆・改稿を快諾して下さいた皆様、そして編集委員の方々、有り難うございました。

石田 貴文 (生物科学専攻教授)

昨年4月に福村知昭先生の後任として編集委員会に加えていただきました。この度、一年間の任期を終えて退任することとなりました。その間、理学部の多くの皆様に原稿を執筆していただきまして、あらためて御礼申し上げます。退任後は読者として理学部ニュースを楽しみつつ、自

分自身の研究を「学部生に伝える研究最前線」で取り上げていただけるように精進したいと思います。どうもありがとうございました。

狩野 直和 (化学専攻 准教授)

9年間にわたって、理学部広報室の運営の傍ら広報誌編集委員会に参加させていただき、皆様にお世話になりました。魅力的な原稿をいち早く読ませていただくことは楽しく、また、編集委員会の先生方の熱意に頭が下がる思いでした。個人的には、理学部ニュースの全面改訂で、武田加奈子特任専門職員と力を合わせて今風のスタイルに変更したことが、わずかながらの功績のひとつでした。また、ビ

ンチヒッターとして空いた隙間を埋める「窓」コラムを時折、書かせていただいたのが思い出に残っています。今後は本部広報戦略企画室に籍を移しますが、引き続き理学部ニュース、引いては理学部の発展に陰ながら貢献していきたいと思っています。

横山 広美 (科学コミュニケーション 准教授)

第28回東京大学理学部公開講演会開催のお知らせ |

梶田隆章教授ノーベル物理学賞記念 連続講演会 **カミオカから宇宙をみる**

第28回目となる今回は、梶田隆章教授ノーベル物理学賞受賞記念連続講演会として、東京大学が主導し神岡で行われている研究について3人の教員がお話します。詳しくは理学部HPをご覧ください。皆様のご来場をお待ちしています。

■ 理学部 HP : <http://www.s.u-tokyo.ac.jp/ja/>

博士学位取得者一覧 |

(※) は原題が英語 (和訳した題名を掲載)

種別	専攻	取得者名	論文題名
2016年1月25日付 (2名)			
論文	物理	井上 慶純	東京アクシオンヘリオスコープ装置による太陽アクシオンの探索 (※)
課程	化学	那須 雄介	ミトコンドリアを介する細胞死の蛍光イメージングと解析法の開発 (※)
2016年2月29日付 (1名)			
課程	地惑	山田 洋平	高解像度全球非静力学モデルを用いた熱帯低気圧の温暖化による構造変化に関する研究 (※)

人事異動報告 |

異動年月日	所属	職名	氏名	異動事項	備考
2016.1.16	ビッグバン	特任助教	GAO XIAN	採用	
2016.1.31	生科	特任助教	中村 瑛海	退職	
2016.2.1	ビッグバン	准教授	CANNON KIPP	採用	
2016.2.29	物理	助教	遠藤 基	退職	高エネルギー加速器研究機構素粒子原子核研究所理論センター・准教授へ
2016.2.29	化学	助教	佐藤 亮洋	退職	
2016.3.1	地惑	教授	平田 岳史	採用	
2016.3.1	生科	准教授	矢守 航	採用	